

NIPPO
ニッポ電機株式会社

シームレスライン照明器具 / 低輝度コンパクト型

SAL-F A

(100V, 50/60Hz共用)

取扱説明書

保存用

お買い上げありがとうございました。ご使用前に必ずお読みください。
この説明書は取付工事が終わりましたら器具をご使用になるお客様に必ずお渡しください。

07年01月11

NIPPO ニッポ電機株式会社

本社・工場 0463-22-1946
札幌営業所 011-824-5051
仙台営業所 022-256-6301

城東営業所 03-3829-0571
東京営業所 03-5703-2181
名古屋営業所 052-486-2600

大阪営業所 06-6338-1081
広島営業所 082-233-8211
福岡営業所 092-524-1141

安全上の注意

警告



- 器具の分解、改造は絶対にしないでください。火災や感電の原因となります。



- 不安定な場所では使用しないでください。器具の転倒や落下により漏電やケガの原因となります。
- 紙や布や断熱材などで覆ったり、燃えやすいものに近づけないでください。器具の故障や火災の原因となります。
- 器具に内蔵されている電子部品には、絶対に触れないでください。感電の原因となります。
- 器具の隙間に、金属類や燃えやすいものなどを差し込まないでください。感電、火災の原因となります。
- 器具を造営材などへ埋め込んで使用しないでください。放熱が悪くなり、故障、火災の原因となります。



- 取付工事やランプ交換や清掃のときは、必ず電源を切ってください。感電の原因となります。



- 万一、煙がでたり、変な臭いがするなどの異常状態が発生した場合はすぐに電源を切ってください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。また、異常状態がおさまったことを確認してから工事店、電器店に修理を依頼してください。



- 取付工事は、取扱説明書にしたがって確実におこなってください。確実に取り付けしないと、火災、感電、ケガの原因となります。
- 器具の取り付けは、器具質量に耐える所に取扱説明書にしたがって確実におこなってください。取り付けに不備があると落下し、感電、ケガの原因となります。
- 電源を接続する際は、取扱説明書にしたがって確実におこなってください。接続が不完全ですと、接触不良により火災の原因となります。



- アース工事は、電気設備技術基準にしたがって確実におこなってください。アースが不完全ですと感電の原因となります。

注意

- 専用ランプ以外は使用しないでください。
- 電源電圧は、定格電圧±6%以内で使用してください。電源電圧が低いとランプ短寿命の原因となることがあります。高いと電子部品が過熱し発煙、発火の原因となることがあります。
- 屋内用器具ですので、屋外では使用しないでください。屋外で使用すると感電、火災の原因となることがあります。
- 引火する危険性の雰囲気（ガソリン・可燃性スプレー・シンナー・ラッカー・粉塵など）を使用しないでください。火災や爆発の原因となることがあります。
- 雨や水滴のかかる状態や温度の高いところでは使用しないでください。漏電や破損の原因となることがあります。
- 酸などの腐食性雰囲気のところでは使用しないでください。漏電や落下の原因となることがあります。
- 振動や衝撃の激しいところでは使用しないでください。落下や接触不良により、発煙、発火の原因となることがあります。
- 器具のどこかでは使用しないでください。接触不良の原因となることがあります。
- 器具を被照射物に近接した位置に取り付けないでください。被照射物(面)が退色する場合があります。
- ランプ取付け、取外しの際は、ランプ両端の口金部分を持っておこなってください。破損の原因となることがあります。

- ランプ取付け時は、ランプ口金の黒線がソケット羽部に納まる位置まで確実にランプを差し込んでください。ランプの落下や接触不良により、ケガや過熱、発煙の原因となることがあります。

装着図	完全装着状態	不完全装着状態		
	○ 良好	✗ 挿入不足	✗ 挿入不足	✗ 片側挿入
ランプ装着状態	正常	挿入不足	挿入不足	片側挿入
ランプ点灯状態	点灯	不点灯	点灯	点灯

- ランプに物をぶつけたり、荷重をかけたり、無理な力を加えたり、キズをつけたりしないでください。ランプの破損によりケガの原因となることがあります。
- ランプに塗料などを塗らないでください。ランプが過熱し、破損の原因となることがあります。
- 口金のピンが曲がったり、折れたりしたランプは使用しないでください。また、ピンの切断もしないでください。接触不良による過熱、発煙の原因となることがあります。
- 点灯中や消灯直後は、ランプが熱いので手や肌などを触れないでください。ヤケドの原因となることがあります。
- 使用済のランプは割らずに廃棄してください。ランプを割るとガラス破片が飛散し、ケガの原因となることがあります。

ご使用上の注意

- 器具の取付工事は必ず電気工事店に依頼してください。
- 器具を並列に取り付ける場合は、器具間隔を40mm以上離してください。ランプがチラつたり、熱干渉によりランプの光束が落ちたり、安定器やランプの短寿命の原因となることがあります。
- 接続する電線は電源線にはVCTF0.75mm²を使用してください。
- 器具間の電源送りをする場合は、取扱説明書にしたがって、最大10灯以内とし、他の器具は接続しないでください。
- 使用温度範囲は5~40°Cで使用してください。周囲温度が低温または高温の場合、ランプ不点灯やチラツキの原因となることがあります。
- 器具清掃の際は、シンナーやベンジンなどの溶剤は使用しないでください。水または中性洗剤を湿した柔らかい布でよく絞ってから拭いてください。

- 器具の近くで赤外線リモコン機器を使用しないでください。リモコン機器が正常に動作しないことがあります。
- 点灯および消灯直後にランプからの熱による金属の膨張収縮で、きしみ音が照明器具より発生する場合がありますが、安全上に問題ありません。
- 初めて点灯したとき、ランプの電極付近が黒くなることがあります。しばらく点灯しておくと消えます。
- 強い風があたる場所は避けてください。風のあたる部分は、黒化や斑点現象が発生しやすくなります。また、エアコンの風など冷風が直接あたるとチラツキの原因となることがあります。
- 点滅を頻繁に繰り返す場合は、ランプ寿命が短くなります。
- 寿命になったランプは、早めに交換してください。
- 照明器具を上向き設置以外で設置する場合には、ワイヤーホルダーを必ずご使用ください。

定格

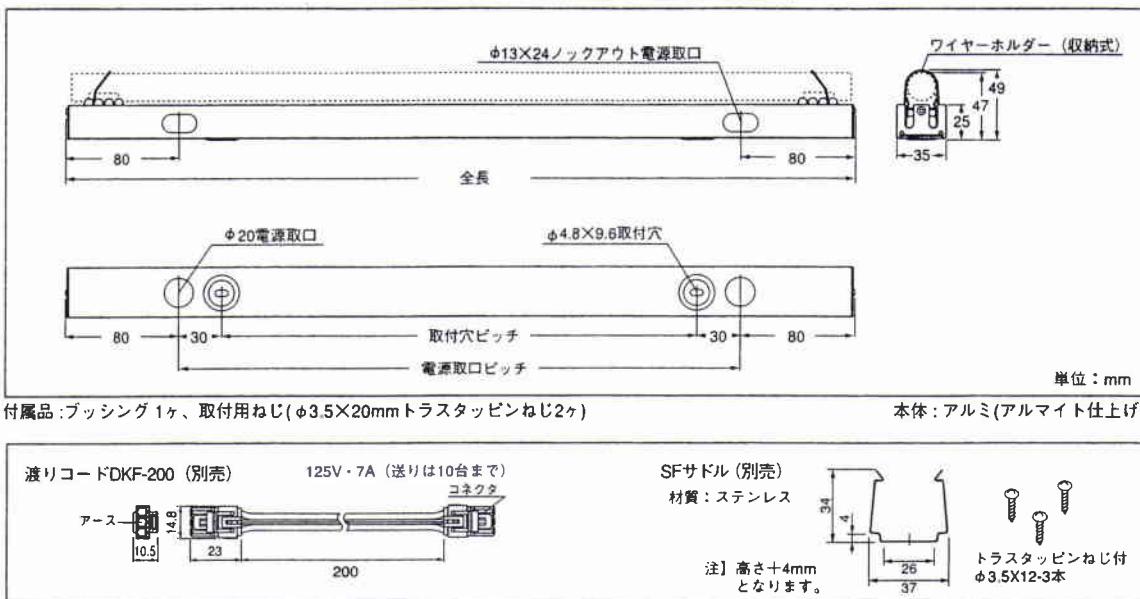
形式	適合ランプ	灯数	全長 (mm)	取付穴ピッチ (mm)	電源取口ピッチ (mm)	本体質量 (kg)	入力電圧 (V)	入力電流 (A)	入力電力 (W)	ランプ電力 (W)	力率
SAL-F 500A	FRT 500	1	500	280	340	0.45	100	0.18	18	12	高
SAL-F 850A	FRT 850	1	850	630	690	0.60	100	0.27	27	20	高
SAL-F1000A	FRT1000	1	1000	780	840	0.65	100	0.30	30	24	高
SAL-F1250A	FRT1250	1	1250	1030	1090	0.75	100	0.38	37	31	高
SAL-F1500A	FRT1500	1	1500	1280	1340	0.85	100	0.44	43	34	高

●周波数50/60Hz共用 ●接続する電線は、VCTF0.75mm²を使用してください。

(仕様と定格は予告なく変更することがあります。)

●電源送りは最大10灯以内とし、シームレスライン照明器具以外は接続しないでください。

各部の名称と外形寸法

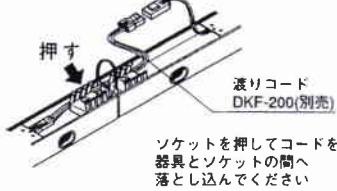


取付方法

1. 器具の取付け

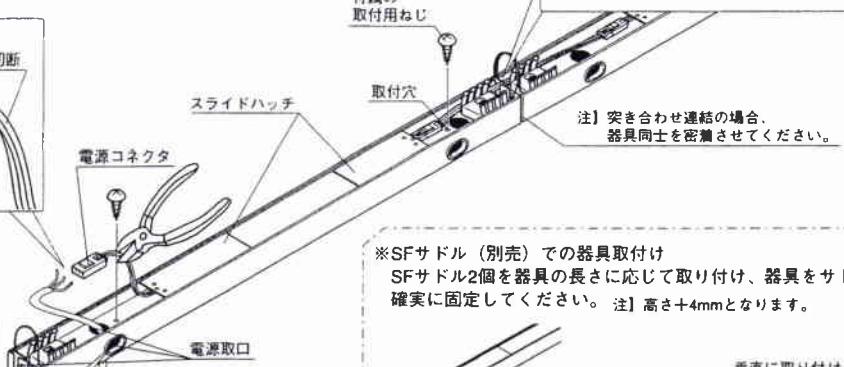
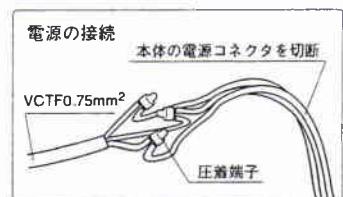
- 器具両端のスライドハッチを開け、付属の取付用ねじで固定してください。
- ※器具の長さに応じて取り付けられるSFサドル（別売）でも取付けできます。
- 詳しくはSFサドルの取扱説明書をご覧ください。

渡りコードの接続（電源の送り）
別売の渡りコードDFK-200を使用して最大10灯まで取り付け出来ます。

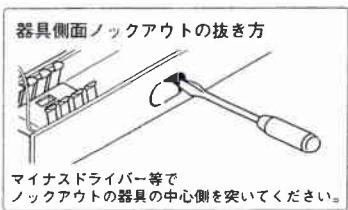


2. 電源の接続(&渡りコードの接続)

- 器具本体の電源コネクタを切断し、VCTF0.75mm²（電源線）と圧着等で結線してください。
結線部分は器具内に収納してください。
- スライドハッチをカチッと音がするまで閉じてください。



*SFサドル（別売）での器具取付け
SFサドル2個を器具の長さに応じて取り付け、器具をサドルの上から確実に固定してください。注] 高さ+4mmとなります。



3. ランプの装着

- ランプ取り付けの際は、電源が切れていることを確認してください。

・上向き取付以外

- ワイヤーホルダーの両端を持ってソケットに
パチッと音がするまで確実に
セットし、ランプ口金の黒線が
ソケット羽部に納まっている
ことを確認してください。
- ワイヤーホルダーをソケットの一段目の溝に
正しくセットしてください。



*ランプ取り外しの際も、必ず電源を切ってから、ランプ両端を持って外してください。
注] ランプ中央部を持って押し込むと、確実に取り付かない場合やランプが破損する
場合があります。

注] 点灯中や消灯直後は、ランプが熱いので手や肌などを触れないでください。
ヤケドの原因となることがあります。

4. 電源の供給

- 全ての作業が終りましたら電源を入れ、ランプが、点灯することを確認してください。
・シ…ムレスライン照明器具は、ソフトスタートですので電源投入後点灯に数秒かかります。

注] 電源を数秒間隔で「入り」・「切り」させた時や、電源を入れた状態でランプ交換をおこなった時には、保護回路が作動し、ランプが点灯しないことがあります。
この様な時には、いったん電源を切り10秒以上待って、再度電源を入れてください。

注意事項

ランプを正しく安全にご使用いただくために

安全上の注意



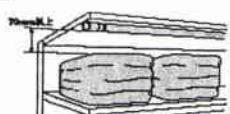
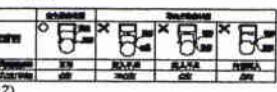
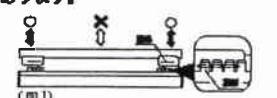
警告

- ランプの取り付け、取り外しや器具清掃のときは、必ず電源を切ってください。感電の原因となります。
- シングルエースランプの被覆フィルムは、キズをつけたりはがさないでください。感電の原因となります。
- 点灯中の紫外線ランプは絶対に肉眼で直視しないでください。目の痛みや视力障害の原因となります。目に入る場合には、必ず保護メガネをかけてください。



注意

- 落としたり、ものをぶつけたり、荷重をかけたり、無理な力を加えたり、キズをつけたりしないでください。破損した場合、ガラス破片が飛散し、ケガの原因となることがあります。
- 引火する危険性のある気（ガソリン・可燃性スプレー・シンナー・ラッカー・粘脂など）で使用しないでください。火災や爆発の原因となることがあります。
- 適合した安定器、器具、ソケットを必ず使用してください。安定器、器具、ソケットの過熱、発煙の原因となることがあります。また、ランプ不点灯、短寿命、チラツキなどの原因となることがあります。
- 点灯中や消灯直後は、ランプが熱いので手や肌などを触れないでください。ヤケドの原因となることがあります。
- 使用済のランプは割らずに廻収してください。ランプを割るとガラス破片が飛散し、ケガの原因となることがあります。
- 雨や水滴のかかる状態や湿度の高い所では使用しないでください。漏電や破損の原因となることがあります。
- ランプ取付時は、ソケットおよびランプホルダーに確実に取り付けてください。ランプが落下破損した場合、ガラス破片が飛散しケガの原因となることがあります。また、接触不良により短寿命の原因となることがあります。
- シームレスラインランプは、ランプ両端の口金部分を持って差し込んでください。破損した場合、ケガの原因となることがあります。
- シームレスラインランプ取付時は、ランプ口金の黒線がソケット羽部に納まる位置まで確実にランプを差し込んでください。ランプの下や接触不良により、ケガや加熱、発煙の原因となることがあります。（図1、2）
- 紙や布などで覆ったり、燃えやすいものに近づけないでください。火災の原因となることがあります。
- 酸などの高活性性酸の所では使用しないでください。漏電や落下の原因となることがあります。
- 振動や衝撃の激しい所では使用しないでください。落下破損によるケガやランプ短寿命の原因となることがあります。
- ランプに塗料などを塗らないでください。接触不良による加熱の原因となることがあります。
- 粉塵の多い所では使用しないでください。接触不良の原因となることがあります。
- 退色を避けたい場合には、紫外線カットランプ（NU・P）を使用してください。
- ランプ口金のピンが曲がったり、折れたりしたランプは使用しないでください。また、ピンの切削もしないでください。接触不良による過熱、発煙の原因となることがあります。
- 電線はランプから5cm以上離して配線してください。ランプからの熱で電線が変質する原因となることがあります。
- 殺菌ランプ（GL）およびBLBランプは退色を避けたい場合には、使用しないでください。被覆物が紫外線により退色・劣化の原因となることがあります。
- 殺菌ランプ（GL）は（BLBランプは長時間）皮膚に当てないでください。皮膚の炎症を起こす原因となることがあります。



ご使用上の注意

- 使用温度範囲は5～40°Cで使用してください。周囲温度が低温または高温の場合、ランプ不点灯やチラツキの原因となることがあります。
- 電源電圧が低い場合（定格入力電圧の94%以下）はランプが点灯しなかったり、短寿命の原因となることがあります。
- 点滅を頻繁に繰り返す場合は、ランプ寿命が短くなります。（エースラインランプで調光用または点滅用安定器との組み合わせで使用してください。）
- 初めて点灯したとき、電極附近が黒くなることがありますが、しばらく点灯しておくと消えます。
- エースラインランプ（FLR）、ブライトラインランプ（PRB）には近接導体のアルミテープがついています。キズをつけたりはがしたりしないでください。チラツキや不点灯の原因となることがあります。
- 強い風があるところは避けてください。風のあたる部分は、黒化や斑点現象が発生しやすくなります。また、エアコンの風など冷風が直接あたるとチラツキの原因となることがあります。
- 寿命になったランプは、早めにランプを交換してください。（コールドケースランプは、ジャケットごと交換してください。）
- ランプには点灯に必要な金属粒が封入してあります。ランプを壊すと音がしますが異常ではありません。
- 電源波形の歪みや変動があるときは、ランプにチラツキが発生する場合があります。
- ランプの取付は造作物から5mm以上離してお取り付けください。

安定器を正しく安全にご使用いただくために

安全上の注意



警告

- 取付工事の際は、必ず電源を切ってください。感電の原因となります。
- 安定器の構造を変更したり、ケースを開けたりしないでください。故障の原因となるばかりでなく、感電、発煙、発火などの原因となります。
- 安定器の二次側を接続しないまま放置しないでください。施工途中でやむを得ず二次側を接続しない場合、電線を切断したままで一括して絕縁処理をしないで電線を一本一本に分けて確実に絶縁処理をしてください。一括して絶縁処理をしますと電線切断面で放電が起り、電線が焼損し火災の原因となります。

- 安定器の二次側には高電圧が発生しますので、活線作業をしないでください。活線作業をしますと感電などの原因となります。
- 電線あるいは絶縁処理部に刃物などによる傷をつけないでください。傷がついた状態で使用しますと、絶縁破壊により漏電、感電、火災などの原因となります。
- 電線を接続する場合、ゆるみ抜けのないように確実に接続してください。接続が不完全ですと、接続部の焼損や火災などの原因となります。
- 振動や衝撃のある場所で使用する場合は、金属疲労やネジのゆるみによる落下を防止する対策を施してください。対策を施さないと、落下によるケガの原因となります。



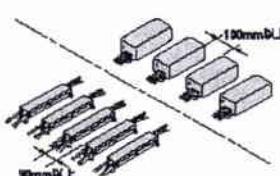
注意

- 紙や布などを安定器の上に置いたり、かぶせたりしないでください。安定器の温度が高くなり、保護機能が動作したり、紙や布が焦げて火災の原因となることがあります。
- 屋内用安定器は露の付着や水分を避けてください。漏電の原因となることがあります。
- 長期間使用しない場合は、部屋の温度により絶縁が悪くなることがありますので、部屋の換気をおこなうか定期的に通電してください。絶縁が悪くなりますと漏電、感電の原因となることがあります。
- 安定器の取付工事は、必ず電気工事店に依頼してください。一般の方の工事は、法で禁じられています。素人工事をおこないますと、漏電、感電、火災などの原因となることがあります。

- 標準使用条件で8～10年経過した安定器は、絶縁性能が低下していますので使用しないでください。そのまま使用しますと絶縁劣化が進行し、異常過熱、焼損、発煙、発火などの原因となることがあります。安定器の交換をおすすめします。
- 結露は、変更器に表示してある接続回路におこなってください。間違って接続されるとランプの不点灯、安定器の焼損などの原因となることがあります。
- 誤って落とした安定器は使用しないでください。故障の原因となるばかりでなく発煙、発火などの原因となることがあります。
- 引火する危険性の要因（ガソリン、可燃性スプレー・シンナー・ラッカーなど）では使用しないでください。火災、爆発の原因となることがあります。
- 動作の多い所では、使用しないでください。発火の原因となることがあります。
- 油などの腐食性雰囲気の所では使用しないでください。腐食して故障、落下の原因となることがあります。
- スリムラインランプ用安定器は、ランプを外したとき電源回路が切れるインターロック機構が必要ですので、安定器に表示してある接続回路通りにインターロック配線をおこなってください。ランプ交換の際、感電の原因となることがあります。（電気設備技術基準第206条）
- 安定器の二次側口出線を延長する場合は、接続する電線は電気設備技術基準に従っておこなってください。漏電、発火の原因となることがあります。
- 安定器を造営材に取り付ける場合は、造営材から1cm以上離して取り付けてください。発煙、発火の原因となることがあります。（電気設備技術基準第206条）
- 屋外の場所（天井裏など）に取り付ける場合は、空氣に点検できるように施設してください。火災の危険性を防止し、定期点検、異常時の処置をおこなうため、電気設備技術基準で定められています。
- 電線が安定器ケースの端部に触れないよう余裕をもたせてください。ケースの端部で絶縁被覆を傷つけ、絶縁破壊による漏電、感電などの原因となることがあります。
- 電線の接続点や安定器の口出線には、張力を加えないでください。接続部での断線、絶縁破壊、接触不良による発熱などの原因となることがあります。
- 口出線を持って安定器を運搬しないでください。接続部での断線、絶縁破壊、接触不良による発熱などの原因となることがあります。
- 安定器には接地工事が必要です。電気設備技術基準に従い接地工事をおこなってください。
- この他、工事上の制約がありますので、安定器の取り付けに際しては電気設備技術基準に準じて施工してください。
- 取付後、絶縁抵抗を測定してください。絶縁抵抗が規定値より低い場合は、漏電、感電、火災などの原因となることがありますので絶縁を修復させた後、測定してください。

ご使用上の注意

- 使用するランプに適合した安定器を使用してください。
- 定格入力電圧の±6%の範囲で使用してください。入力電圧が低いとランプが点灯しなかったりチラツキが発生することがありますし、高いと安定器が過熱し故障の原因となります。
- 安定器周囲温度は40°C以下で使用してください。周囲温度が高い場合や他の熱源から影響を受ける場合などには、安定器が短寿命となったり、内蔵している保護機能が動作したりします。また、周囲温度40°C以下でも同様に安定器短寿命の恐れがありますので、次の事項を守ってください。
 - ①安定器を2台以上並べて設置する場合には、相互の熱の影響を受けますので電磁安定器は100mm以上（電子安定器は50mm以上）離し通風をよくして設置してください。
 - ②安定器を箱の中に収納する場合は、空気を充分大きくとり、かつ換気をして安定器が過熱しないように注意してください。
 - ③安定器を光源の上部などに取り付ける場合は、光源の熱影響を受けますので熱遮蔽の仕切りをするとともに充分な間隔をとってください。
 - ④木や板の埋込み部分など、狭く周囲に空気の対流がなく熱がこもりやすい場所に安定器を埋め込まないでください。
 - ⑤周囲温度が低い場合、電子安定器は正常動作をしない場合がありますのでご注意ください。
 - ⑥安定器とランプ（ソケット）との間の二次側配線の長さは次の事項を守ってください。
 - ①電子安定器は記載容量による安定器への影響を考慮し、3m以内にしてください。
 - ②電磁安定器は、電圧降下によるランプへの影響を考慮し、30m以内にしてください。
 - ③電磁安定器は鉄芯の振動で若干のうなり音が発生します。静かさを要求される場所



- や多数の安定器を設置する場所では、騒音に配慮して施工してください。なお、騒音対策としては、次の方法があります。
 - ①防振ゴムなどを使用し安定器からの振動が伝わらないように取り付けてください。
 - ②安定器の設置場所を変える。
 - ③電子安定器は電磁安定器に比べ騒音が小さいので、電子安定器をおすすめします。
 - ④電子安定器の二次側口出線の赤一白間または白一黒間を短絡させますと安定器が故障しますので注意してください。
- 電磁安定器は電源周波数50Hz用と60Hz用があります。電源周波数に適合した安定器を使用してください。間違えて使用しますと安定器の故障やランプ寿命の原因となることがあります。周波数共用タイプの場合は、安定器に表示してある接続回路におこなってください。
- 電線はランプから50mm以上離して接続してください。ランプからの熱で電線が変質する原因となります。
- アース工事は、電気設備技術基準に従って確実におこなってください。アースが不完全ですと、感電の原因となることがあります。
- 施工方法、使用方法によっては、電波障害が生じることがありますので次の事項を守ってください。
 - ①安定器の一次、二次側配線と通信ケーブルなどは、近接しないように施工してください。
 - ②無負荷状態、ランプ不点灯および点滅などの状態での放置はしないでください。
 - ③安定器およびその配線と電子機器とをあまり近づけないようにしてください。
 - ④電子安定器を使用した器具に接近してワイヤレスマイクを使用すると、雑音が入り正常に動作しない場合があります。また、赤外線リモコン機器や盗難防止センターを近接して使用しますと機器が正常に動作しない場合があります。

調光器を正しく安全にご使用いただくために

安全上の注意



- 取付工事や清掃のときは必ず電源を切ってください。
- 万一、煙がでたり、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐに電源を切り、異常状態がおさまったことを確認してから工事店、電気店に修理を依頼してください。



- 調光器の分解、改造は絶対にしないでください。感電の原因となります。



- 断熱材や燃えやすいものなどで覆ったりしないでください。調光器の故障や火災の原因となります。
- 調光器の隙間などに金属類や燃えやすいものなどを差し込むないでください。感電や火災の原因となります。



- 取付工事及び電気工事の際は取扱説明書にしたがって確実に行ってください。漏電、火災、ケガの原因となります。



- 電源電圧は、定格電圧の±6%以内で使用してください。電源電圧が低いとランプが点灯しません。高いと電子部品が過熱し発煙、発火の原因となることがあります。
- 屋内用調光器です。屋外では使用しないでください。屋外で使用すると漏電、火災の原因となることがあります。
- 引火する危険性の要因（ガソリン、可燃性スプレー・シンナー・ラッカー・漆面など）では使用しないでください。火災、爆発の原因となることがあります。
- 雨や水滴がかかる状態や温度の高いところでは使用しないでください。漏電、感電や故障の原因となることがあります。
- 油などの腐食性雰囲気のところでは使用しないでください。漏電や落下の原因となることがあります。
- 動作の多いところでは使用しないでください。接触不良の原因となることがあります。
- 標準使用条件で8～10年経過した調光器は絶縁性能が低下していますので使用しないでください。そのまま使用しますと火災の原因となることがあります。

- 定格電流は15Aです。15A以下の負荷で使用してください。
- レールコンセントから負荷に給電する際は、専用のRCプラグを使用してください。
- RCプラグは、中央の刃をレールコンセントの真ん中のレールにあわせてまっすぐしっかりと差し込んでください。
- 万一、煙がでたり、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐに電源を切り、異常状態がおさまったことを確認してから、工事店、電器店に修理を依頼してください。

コンセント・コネクタを正しく安全にご使用いただくために

安全上の注意



警告

- 取付工事や清掃のときは必ず電源を切ってください。感電の原因となります。
- コンセント、コネクターの必要な作業以外の分解や改造は絶対にしないでください。感電の原因となります。
- コンセントの受け刀（充電部）には触れないでください。感電の原因となります。使用しないコンセントは、付属のゴムキャップ（電源キャップ）をかぶせて必ずフタをしてください。（MKコンセントにはフタはございません）
●漏光器の隙間などに金属類や燃えやすいものなどを差し込まないでください。感電や火災の原因となります。
- 万一、煙がでたり、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐに電源を切り、異常状態がおさまったことを確認してから工事店、電器店に修理を依頼してください。



注意

- アース線の接続箇所を間違えないよう注意してください。間違って接続されますと漏電、感電の原因となります。雨や水滴がかかる状態や温度の高いところでの使用や清掃の際に水や薬品がかかるないように注意してください。漏電、感電や故障の原因となることがあります。
- 引火する危険性のある液体（ガソリン、可燃性スプレー、シンナー、ラッカーフィニッシュなど）で使用しないでください。火災、爆発の原因となることがあります。
- コンセント、コネクターの電線接続を行う際は、取扱説明書の「取付方法」に従い確実に行ってください。火災の原因となることがあります。
- コネクターはコンセントの奥まで確実に差し込み電線に余裕をもたして設置してください。差し込みが不完全になりますと、接触不良による発熱、焼損の原因となることがあります。
- コネクターを抜く際は濡れた手やコードを引っ張って行わないでください。感電や火災の原因となることがあります。
- コンセント、コネクターは取扱説明書に従い定格電流容量以下の負荷でご使用ください。定格容量を超えて使用しますと発熱、焼損の原因となることがあります。

ご使用上の注意

- コンセント、コネクターに使用する電線は取扱説明書に従い確実に行ってください。
- ヒューズ付きコンセントのヒューズ交換の際には当社別売の「MKヒューズ」を使用し、取扱説明書「ヒューズ交換方法」に従って、確実に行ってください。火災の原因となることがあります。
- コンセント、コネクターを清掃する際は、シンナーやベンジンなどの溶剤を使用しないでください。水または中性洗剤を湿らした柔らかい布でよく拭ってから拭いてください。故障の原因となることがあります。
- コンセント、コネクターは什器専用です。什器以外の電源には使用しないでください。
- コンセント、コネクターに強い衝撃を与えないでください。破損による漏電、感電の原因になることがあります。
- コンセント、コネクターの近畿した場所にストーブなど温度の高くなるものを置かないでください。故障の原因となることがあります。

電源・端線コードを正しく安全にご使用いただくために

安全上の注意



警告

- 電源コードや端線コードをコンセントから抜いたときは、コンセントのゴムキャップ（電源キャップ）をかぶせてコンセントに必ずフタをしてください。コンセントの受け刀（充電部）に触れると感電します。



- 取付工事の際は、必ず電源を切ってください。感電の原因となります。



注意

- 電源コードや端線コードのコネクターは、コンセントの奥まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと接触不良による発熱、焼損の原因となることがあります。
- コードに取り付けられているコネクターの定格電流容量は12Aです。12A以下の負荷で使用してください。（複数接続で2台以上の什器に給電する場合は、特に注意してください。）
- コードの上に重いものを乗せたり、踏んだりしないでください。コードにキズが付きますと漏電、感電の原因となることがあります。

照明器具を正しく安全にご使用いただくために

安全上の注意



警告

- 取付工事やランプ交換・清掃のときは、必ず電源を切ってください。感電の原因となります。
- 万一、煙がでたり、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐに電源を切り、異常状態がおさまったことを確認してから工事店、電器店に修理を依頼してください。



- 器具の分解、改造は絶対にしないでください。感電の原因となります。



- 器具に内蔵されている電子部品は、絶対に触れないでください。感電の原因となります。
- 断熱材や燃えやすいものなどで覆ったりしないでください。器具の故障や火災の原因となります。
- 器具の隙間や放熱穴などに金属類や燃えやすいものなどを差し込まないでください。感電や火災の原因となります。



- 取付工事は、取扱説明書に従って確実におこなってください。感電、火災、落下、ケガの原因となります。
- 器具の取り付けは、器具質量に耐える所に取扱説明書に従って確実におこなってください。取り付けに不備があると落下し、感電、ケガの原因となります。
- 電源を接続する際は、取扱説明書に従っておこなってください。接続が不完全ですと、接続不良により火災の原因となります。



- アース工事は、電気設備技術基準に従っておこなってください。アースが不完全ですと、感電の原因となることがあります。



- 専用ランプ以外は使用しないでください。
- 電源電圧は、定格電圧の±6%以内で使用してください。電源電圧が低いとランプが点灯しない場合がありますし、高いと電子部品が過熱し発煙、発火の原因となることがあります。

- 屋内用器具です。屋外では使用しないでください。屋外で使用すると感電、火災の原因となることがあります。
- 雨や水滴のかかる状態や湿度の高い所では使用しないでください。漏電、破損や故障の原因となることがあります。
- 振動や衝撃の激しいところでは使用しないでください。落下によるケガや接触不良により発煙、発火の原因となることがあります。
- 引火する危険性の要因気（ガソリン・可燃性スプレー・シンナー・ラッカー・粉塵など）で使用しないでください。火炎や爆発の原因となることがあります。
- 歯などの腐食性雰囲気の所では使用しないでください。漏電や落下の原因となることがあります。
- 粉塵の多いところでは使用しないでください。接触不良により、発煙、発火の原因となることがあります。
- 器具が棚やショーケースから落としたまま使用しないでください。近くに可燃物があると火災の原因となることがあります。
- 器具を被覆物に近接した位置に取り付けないでください。被覆物（面）が過熱する場合があります。
- プラグを抜くときは、コードを引っ張っておこなわないでください。感電や火災の原因となることがあります。
- 濡れた手でプラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- ランプの脱着は取扱説明書を十分に読み確実におこなってください。火炎、ランプ落下の原因となることがあります。

ご使用上の注意

- 器具の取扱工事は必ず電気工事店に依頼してください。
- 器具は5～40°Cの温度範囲で使用してください。（シームレスライン照明器具のSAL-D AM/BMは10～30°C、SAL-D FMは5～35°C）温度範囲を超えて使用した場合、ランプ不点灯やチラツキの原因となることがあります。
- 照 明 器 具 においてランプ点灯および消灯時にランプの熱により器具を使用している部材が膨脹収縮し、きしみ音が発生する場合がございますが安全上に問題はございません。
- 器具を清掃する際は、シンナーやベンジンなどの溶剤を使用しないでください。水または中性洗剤を温らかく布でよく拭ってから拭いてください。故障の原因となることがあります。
- 器具の近くで赤外線リモコン機器を使用しないでください。リモコン機器が正常に動作しないことがあります。
- 器具に5kg以上の荷重をかけないでください。器具の故障や落下の原因になることがあります。
- 器具の真下にストーブなど温度の高くなるものを置かないでください。故障の原因となることがあります。
- 電源にRC フラグを使用している器具は中央の刃をレールコンセントの真ん中にあわせてまっすぐしっかりと差し込んでください。感電、火炎の原因となることがあります。
- 商品の褪色を避けたい場合には器具を近接した位置に取り付けないでください。
- 器具を木棚などへ据め込む場合は放熱に注意してください。放熱が悪いと、故障の原因となるだけでなく、火炎の原因となることがあります。（図3）
- 可燃性造作物に取り付ける場合には、器具との間隔をとってください。（図4）
- シームレスライン照明器具を上向き設置以外で設置する場合には、ワイヤーホルダーを必ず使用ください。（図5）
- シームレスライン照明器具 SAL-D FMは、回路の特性上、スイッチをONしたら約50%の明るさになり、その後、調光設定レベルの明るさに差も着きます。
- 古いタイプの漏電ブレーカーと一緒に使用された場合には、漏電ブレーカーの種類によってはインバーターから漏れる高周波電流の影響でブレーカーが誤作動する場合があります。この場合には漏電ブレーカーを新しいものと交換してご使用ください。インバーターには高周波雜音を抑制する

ために、漏洩電流が流れ、電圧フリーインバーターでは、固定電圧式と比較して電圧値が大きくなる傾向にあります。尚、この漏洩電流は絶縁劣化とは全く関係ありません。漏電警報機をご使用の場合は、作動電流の設定値にご注釈の上ご使用ください。

ルニエースを正しく安全にご使用いただくために

安全上の注意



警告

- 取扱工事の際やランプ交換・器具清掃のときは、必ず電源を切ってください。感電の原因となります。



- ダウントランプ・ディマー等の分解・改造は絶対にしないでください。感電の原因となります。



- 紙や布などでおおったり、燃えやすいものに近づけないでください。火炎の原因となります。



注意

- ルニエースはシステム商品です。組み合わせについてはカタログを、取り付けに関しては取扱説明書をよくお読みください。
- ライトストリップやランプは落としたり、ものをぶつけたり、荷重をかけたり、無理な力を加えたり、キズをつけたりしないでください。破損の原因となることがあります。
- 点灯中や消灯直後は、ランプが熱いので絶対に手や肌などを触れないでください。ヤケドの原因となることがあります。
- 雨や水滴のかかる状態や、湿度の高い所で使用しないでください。破損の原因となることがあります。
- 油料などを塗らないでください。ランプが過熱し、破損の原因となることがあります。
- 引火する危険性の要因気（ガソリン・可燃性スプレー・シンナー・ラッカー・粉塵など）で使用しないでください。火炎や爆発の原因となることがあります。
- ランプと被覆面に適当な空間をもうけて取り付けてください。変色や焼損・火炎などの原因となることがあります。
- ランプはランプ受金やソケットに確実に取り付けてください。ランプの落下や接触不良による過熱、発煙の原因となることがあります。
- 表示された電圧で使用してください。高い電圧で使用すると短寿命や、破損の原因となることがあります。
- ランプに振動・衝撃を与えないでください。短寿命や破損の原因となることがあります。
- 歯などの腐食性雰囲気の所では使用しないでください。漏電や落下の原因となることがあります。
- 粉塵の多い所では使用しないでください。器具の過熱の原因となることがあります。
- ランプを直列点灯で使用しないでください。短寿命や破損の原因となることがあります。
- ランプ受金やソケットの接点部が損傷していないか等を点検してください。不点灯や過熱の原因となることがあります。
- ライトストリップの使用しない端子部には必ず付属のエンドキャップを押入し、絶縁処理してください。漏電の原因となります。
- ダウントランプの入力側はVVF ϕ 16または ϕ 20を二次側の記録はHIV2.0mm 2 を使用してください。
- 定格寿命を超過したランプは、交換をおすすめします。まれに破損の原因となることがあります。
- 退色を極度に避けたい場合には、使用しないでください。
- 使用済のランプは割らずに廃棄してください。ランプを割るとガラス破片が飛散し、ケガの原因となることがあります。

